

製品名: ERI1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10591**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	37kDa

抗原情報

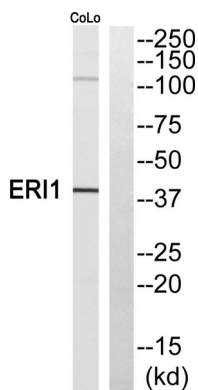
遺伝子名	ERI1 ERI1; 3'EXO; THEX1; 3'-5' exoribonuclease 1; 3'-5' exonuclease ERI1; Eri-1 homolog; Histone
別名	mRNA 3'-end-specific exoribonuclease; Histone mRNA 3'-exonuclease 1; Protein 3'hExo; HEXO
遺伝子 ID	90459.0
SwissProt ID	Q8IV48
免疫原	抗血清はヒト ERI1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

背景

補因子:サブユニットあたり2個のマグネシウムイオンを結合する。、酵素調節:SLBPと同時にヒストン mRNA の3'末端に結合できるが、SLBP の存在によりエキソヌクレアーゼ活性が阻害される。、機能:ヒストン mRNA の3'末端に結合し、おそらくは分解する RNA エキソヌクレアーゼであることから、複製後のヒストン mRNA の分解に重要な役割を果たしていると考えられる。また、in vitro で siRNA の3'突出末端を分解できることから、RNA 干渉(RNAi)の調節因子としての役割が示唆されている。5.8S rRNA の3'末端プロセシングに必要。、配列注意:Leuとして翻訳される。、類似性:エキソヌクレアーゼドメインを1つ含む。、類似性:SAPドメインを1つ含む。、サブユニット:複製依存性ヒストン pre-mRNA のステムループ構造に高親和性で結合する。ステムループ構造に存在する 5'-ACCCA-3'配列を必要とする。他の mRNA にも結合できる。40S および 60S リボソームサブユニット、ならびに 80S 組み立てリボソームに結合。また、5.8s リボソーム RNA にも結合する。、補因子:サブユニットあたり2個のマグネシウムイオンに結合します。、酵素調節:SLBPと同時にヒストン mRNA の3'末端に結合できるが、SLBP の存在によりエキソヌクレアーゼ活性が阻害される。、機能:ヒストン mRNA の3'末端に結合し、おそらくそれを分解する RNA エキソヌクレアーゼであることから、複製後のヒストン mRNA の分解に重要な役割を果たすことが示唆されている。また、in vitro で低分子干渉 RNA (siRNA) の3'突出末端を分解できることから、RNA 干渉 (RNAi) の調節因子としての役割が示唆されている。5.8S rRNA 3'末端のプロセシングに必要。、配列注意: Leuとして翻訳される。、類似性: 1つのエキソヌクレアーゼドメインを含む。、類似性: 1つの SAPドメインを含む。、サブユニット: 複製依存性ヒストン pre-mRNA のステムループ構造に高親和性で結合する。ステムループ構造に存在する 5'-ACCCA-3'配列を必要とする。他の mRNA にも結合可能。40S および 60S リボソームサブユニット、および 80S リボソームに結合。5.8S リボソーム RNA にも結合する。、

研究分野

画像データ



ERI1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには ERI1 ペプチドでブロッキングされている。